



2019 年度 第 42 期

富士見市民大学

講座案内



市民による市民のための大学 NPO法人富士見市民大学

〒 354-0033 埼玉県富士見市羽沢 3 丁目 23-10 鶴瀬公民館内

TEL 049-251-1140 fax 049-251-1156

<http://www.fujimi-shimindaigaku.org/>

© tippis



教養コース ①「文学講座」

定員 60 人

日記文学の名作 『土佐日記』 『蜻蛉日記』 『紫式部日記』
『和泉式部日記』 『更級日記』 から珠玉の名文を味わう

その日どう生きたかを書き記すのが日記です。他人の目に触れることを意識して書かれることもあったでしょうが、事実に基づいて書かれた記録と見てよいでしょう。文学として多くの人に読み継がれてきたのが、この日記文学です。現代作家にも、紀行・自伝・心理小説の分野で、大きな影響をあたえてきました。この講座では、次の七講にわたって、平安時代の日記文学に触れます。限られた時間内に読める部分を探り上げ、原文の一語一語を追います。紀貫之から菅原孝標女まで。五人の作者の声に耳を傾けてみましょう。

講 師 東京学芸大学名誉教授 宮腰 賢（まさる）氏 日本語学者

教 室 みずほ台コミュニティセンター集会室 （下表ではコミセンと表記）

回	日時・場所	作品	テキスト章段
第1講	9月22日午前10～12時 みずほ台コミセン	土佐日記①	男もすなる日記といふもの
第2講	9月29日午前10～12時 みずほ台コミセン	土佐日記②	とまれかうまれ疾く破りてむ
第3講	10月6日午前10～12時 みずほ台コミセン	蜻蛉日記	問はむためしにもせよかし
第4講	10月13日午前10～12時 みずほ台コミセン	紫式部日記	水の上とやよそに見む
第5講	10月20日午前10～12時 みずほ台コミセン	和泉式部日記	夢よりもはかなき世の中
第6講	10月27日午前10～12時 みずほ台コミセン	更級日記①	世の中に物語といふもののあんなるを
第7講	11月3日午前10～12時 みずほ台コミセン	更級日記②	いとかかる夢の世をば見ずもや
文学散歩	11月10日みずほ台駅集合	（自由参加）	神奈川近代文学館と大佛次郎記念館を訪ねる（予定）

教養コース ②ことばと表現「やさしい文章実作教室」 定員 30 名

エッセイ（随筆・随想）をかく確かな一歩

文章に上達するには、まず、書き癖（長所と短所）を自覚することが大事です。すぐれた先生の「添削と講評」をうけ、それを手掛かりに書き直してみることが、結果的には早道のようにです。これは文章の実作講座です。まず、先輩たちの文章を実例に授業をすすめます。

実作面では、授業の初回にお題（課題）が発表されますので、自宅で（800～1200字）を作成し第2週目に提出します。その原稿には先生が添削と講評を加えてお返しします。みなさんはもういちど書き直して、第4週目に再提出します。こうしたプロセスのなかで自分の書き癖が発見でき、エッセイ上達への、確かな一歩を踏み出すことができます。

講 師：永杉徹夫 氏 元毎日新聞編集委員／エッセイスト（著書『童心は老いず』『心に童謡を』など）／『埼玉文芸』審査委員（2018年度/小説・エッセイ部門）

教 室：みずほ台コミュニティセンター集会室

回	時・場所	講座内容 ※は原稿作成と文集制作までのプロセス
1	6月8日（土）10～12 時みずほ台コミセン	良い文章「自分にしか書けないことを、誰にもわかるように書いたもの」と悪文（迷惑文） ※課 題 発 表
2	6月15日（土）10～12 時みずほ台コミセン	着想から作品へ／何を主題にするか／題材と素材について／どう推敲をすすめるか ※課題文提出
3	6月22日（土）10～12 時みずほ台コミセン	どんな順序で書くか（文章の構成・プロットの組立／視点・語り手など） ※文章再提出
4	6月29日（土）10～12 時みずほ台コミセン	「わたし（自分）」をどう表現するか／随筆・随想・評論・エッセイ—など様々な文章の書き方 ※文 集 制 作
5	7月6日（土）10～12 時みずほ台コミセン	文章教室・受講生の作品合評会 ※文 集 配 布

FQ（よくある質問）

1) 課題作品はワープロで打って提出しないといけないのですか？

いいえ、原稿用紙に手書きで提出しても構いません。原稿用紙の正しい使い方、書き方が学べますから、あえて、原稿用紙を使うひともいます。

2) 課題作品はどうしても提出しないといけませんか？

授業を聴く（聴講）だけでも構いません。提出いただいた作品はすべて『記念文集』に掲載します。記念文集は、受講生にはもちろん差し上げますし、富士見市の公民館・中央図書館にも設置しています。

3) どんなタイプのひとがはやく上達しますか？

趣味・人生経験が豊かで（60歳以上のひとはみなさん当てはまりますが…）、観察力のある人、正直に自分のところと向きあえる人が、いい文章を書いています。

文芸作品に見るオノマトペをたのしむ

さらさら(と)流れる春の小川、ひらひら(と)舞い落ちる桜の花びら。

ヒューヒュー(と)吹く風、ピューピュー(と)吹く風、ビュービュー(と)吹く風。

しくしく(と)痛むお腹、ちくちく(と)痛む胃、きりきり(と)痛む背中。

音をそれらしく写した擬声語と、もしも音にたとえるならこう写せるかという擬態語。鳥獣の鳴き声とは異なり物音をそれらしく写すのは擬音語、ようすをそれらしく写すのは擬容語というべきだとする考え方もありますが、ここでは、ひっくるめてフランス語のオノマトペ *onomatopée* と呼ぶことにします。

この講座では、次の五回にわたって、オノマトペが印象深く用いられている文芸作品を採り上げ、その一節を読み味わってみようとするものです。

講師：東京学芸大学名誉教授 宮 腰 賢

教室：みずほ台コミュニティセンター（下の表ではコミセンと省略表記）

期間：2020年1月12日から2月9日（毎日曜日）

回	時・場所	出典	学習項目
第1回	1月12日（日） みずほ台コミセン	古事記・万葉集	こをろこをろ すぶすぶ ほらほら
第2回	1月19日（日） みずほ台コミセン	源氏物語・枕草子	いかいか けいけい ひしひし
第3回	1月26日（日） みずほ台コミセン	現代小説・短歌	のんのん ひよくひよく びらびら
第4回	2月2日（日） みずほ台コミセン	俳句のオノマトペ①	あたふた いそいそ きやらきやら
第5回	2月9日（日） みずほ台コミセン	俳句のオノマトペ②	うふふふふ にこにこ たふたふ

朝鮮半島の歴史と現在と日本

一昨年（2017）2月の米朝会談で「核実験の停止」という成果を確認されました。

第2回米朝会談への“期待”も……しかし、現状。“どうなるか”気をもたせますが、隣国・朝鮮半島の歴史から、その経過と現状について改めて考察したい—という企画です。専門家の講義を期待してください。

回	日時・会場	内 容	講 師
1	7月 13日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館	朝鮮近代史（1） 明治維新～第2次世界大戦終結 幕末・征韓論・政変	南雲和夫 氏
2	7月20日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館	朝鮮近代史（2） 南北分断・朝鮮戦争・共同声明 1980年代の前半・後半	南雲和夫 氏
3	9月21日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館 いきいき活動室	朝鮮戦争と国連軍	高林敏之 氏
4	9月28日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館 いきいき活動室	朝鮮民主主義人民共和国の 国際関係と非同盟外交	高林敏之 氏
5	10月5日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館 いきいき活動室	最近の朝鮮半島平和体制に 向けた動き	高林敏之 氏

【講師プロフィール】

南雲和夫 氏

中央学院大学・法政大学 講師

高林敏之 氏

早稲田大学 非常勤講師

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会
（日本 AALA）常任理事



医療・社会保障崩壊の現実と再生の処方箋

税と社会保障の一体改革が国会決議された後、政権交代もあり遅々として進みません。

そうこうしている内に、こんどは2019年、消費増税の使い道を変更するとのこと。

何故日本の医療が崩壊して社会保障充実が実現しないのか、日本の医療現場の実態を紹介頂き、そのルーツ明治維新について学び、再生の道を探ります。

回	日時・会場	内 容	講 師
1	9月7日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	日本医療現場の実態 先進国最少の医師数と最低の医療費 先進国一高い自己負担	本田 宏 氏 (NPO 法人医療制度研究会 副理事長)
2	9月14日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	医療崩壊のキーワードは「医療費亡国論」 そしてそのルーツは明治維新にあった	本田 宏 氏
3	9月21日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	キューバやデンマーク視察から見えた 医療&社会保障再生の処方箋	本田 宏 氏
4	9月28日(土) 午前10時～12時 鶴瀬公民館	病は気からを科学する 精神神経免疫学から読み解く心と身体 の関係	本田 宏 氏

【講師プロフィール】

本田 宏 氏 : 外科医・NPO法人医療制度研究会 副理事長

(弘前大学医学部卒。東京女子医大腎臓総合医療センター外科勤務、
永らく埼玉県済生会栗橋病院副院長、院長補佐を経て現職)

【主な著書】

- 本当の医療崩壊は、これからやってくる (洋泉社)
- がんになる性格、ならない性格 (廣済堂) 共著
- 高齢期社会保障改革を読み解く (自治体研究社) ほか多数



市民学コース

⑥富士見の歴史

定員 60 人

原始古代から現代までの「富士見市の庶民生活」

‘縄文’から‘平成’までの郷土の歴史を訪ねる

今回は、富士見市域の庶民生活を、縄文弥生の原始から順をおって探求します。

回	時・場所	テーマ	概 要	講 師
1	6月8日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館	原始 縄文人と弥生人のくらしと文化	縄文時代（前期・中期）と弥生時代を中心に、古代人の生活と文化を紹介する。	富士見市水子貝塚資料館（学芸員） 隈本健介 氏
2	6月15日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館	古代 国家統一から律令制時代の東人（あづまびと）	律令国家時代の武蔵国と庶民の生活はどのようなものか。	宮瀧 交二 氏 大東文化大学文化部 歴史文化学科主任教授 （学術博士）
3	6月22日日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館	中世 鎌倉・室町時代の坂東（ばんどう）の庶民の暮らし	東国武士団の台頭と農民の生活および文化について解説する。	宮瀧 交二 氏 大東文化大学文化部 歴史文化学科主任教授 （学術博士）
4	6月29日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館	近世 江戸期の川越藩の武家と庶民（農・工・商）の暮らし	小江戸・川越藩の農民の生活を、武家・商人などと対比しながら解説する。	佐藤啓子 氏 川越市・ふじみ野市 （文化財保護審議委員）
5	7月6日（土） 午前10時～12時 鶴瀬公民館	近・現代 村民・町民をへて富士見市民の誕生	明治～平成まで一富士見の村民・町民・市民の生活の変遷について紹介する。	富士見市南畑資料館 駒木敦子 氏

※歴史散歩： 本年は6月20日（木）に吉見百穴と松山城跡の見学を予定しています。



わが町の想定される大災害とその取り組み

—災害への備え・防災・減災を、直近の地震・水害の実態から学ぶ—

今回の講座は富士見市で首都圏直下地震や荒川や柳瀬川等の決壊による水害などの大災害が起こった場合に想定される状況についてまなびます。また災害発生時には、国や自治体などの支援体制が十分に整うまでは、自力で生き残らなければなりません。その目安は3日間、72時間ともいわれています。大災害発生時に備え私たち一人一人がどう行動すべきか、日頃からどのように備えておくべきか、災害発生時の対応に関する実践的知識や技術を学び、災害時に役立つ行動力を身に付けることが講座の狙いです。

回	日時・会場	内 容	講 師
1	8月24日（土） 午後1時半～3時半 水谷公民館講座室	富士見市で想定される大災害 ・ 想定される大災害の状況とその原因 首都圏直下 M6.5 地震、 荒川決壊、新河岸川、柳瀬河決壊 ・ 富士見市の防災計画	富士見市 安心安全課 山田好貴氏
2	8月31日（土） 午後1時半～3時半 水谷公民館講座室	大災害にどう備える（1） —地震大災害— 熊本大地震に学ぶ	防災アドバイザー 石崎 健氏
3	9月7日（土） 午後1時半～3時半 水谷公民館講座室	大災害にどう備える（2） —水害 河川決壊— 鬼怒川決壊災害に学ぶ	防災アドバイザー 石崎 健氏
4	9月14日（土） 午後1時半～3時半 水谷公民館講座室	避難所の基礎知識 ・ 富士見市の避難所計画 ・ ワークショップ避難所施設の使い方 体験実習 (トイレ、テント組み立て、間仕切り作成)	富士見市 安心安全課 山田好貴氏
5	9月21日（土） 東京臨海広域 防災公園	東京臨海広域防災公園を見学 ・ 地震発生後 72 時間の生存力をつける、 体験学習ツアー ・ 防災クイズ、「AR 体験」で危険個所の確認	引率： 市民大学役員

無肥料自然栽培の体験を通して「食と農」について考える

無肥料無農薬育ちの生命力あふれる野菜を作ってみませんか。無肥料自然栽培の体験を通して「食と農」について学び、自然豊かなライフスタイルを築けるよう一緒に考えましょう。

自分たちで種まき～収穫まで体験し、また、自分たちで栽培した大豆を使って、豆腐づくりにチャレンジします

回	日時・会場		講師
1	6/22 (土) 午前10時～12時 南畑公民館和室1	オープニング ～オリエンテーション～ (弁当持参)	企画運営スタッフ
(1A) ★	(同上) 午後1時10分～4時 同上&渋谷農園(南畑)	～レクチャー 無肥料自然栽培とお野菜づくり～ ～実習 農薬を使わないお野菜づくり 農場見学、果菜類の手入れ、さつま芋苗の植付～	渋谷農園 渋谷正和氏
2 ★	6/29 (土) 午後2時30分～5時30分 渋谷農園(南畑)	大豆を育てて 手作り豆腐を作ろう～(7/6;予備日) 大豆植付予定地の草取り・耕運・畝作り・種まき・水やり (集合場所; 難波田城公園内大澤家前)	渋谷農園 渋谷正和氏
3 ★	7/13 (土) 午後1時30分～4時 鶴瀬西交流センター講座室	講演会～タネからはじまる無肥料自然栽培～	無肥料自然栽培 nicoの会 関野幸生氏、ほか
4	7/20 (土) 午後1時30分～4時 関野農園	無肥料自然栽培農場の見学会 (7/21;予備日) ～関野農園の概要説明～農場見学～ (集合場所; 関沢集会所)	関野農園 関野幸生氏
5	7/27 (土) 午前9時10分～11時40分	～実習 農薬を使わないお野菜づくり 自家採種&果菜類の手入れ・収穫～	渋谷農園 渋谷正和氏
6	9/14 (土) 午後1時30分～4時	～実習 農薬を使わないお野菜づくり 大根の種まき～	渋谷農園 渋谷正和氏
7	11/2 (土) 午前9時30分～12時	～実習 農薬を使わないお野菜づくり さつま芋掘り～ (弁当持参)	渋谷農園 渋谷正和氏
(7A)	(同上) 午後1時～3時30分	～実習 農薬を使わないお野菜づくり 玉ねぎ苗植付～	渋谷農園 渋谷正和氏
8 ★	11/16 (土) 午後1時30分～4時	～大豆を育てて 手作り豆腐を作ろう～ 大豆の収穫、収穫祭用野菜類の収穫	企画運営スタッフ
9 ★	11/17 (日) 午前9時30分～午後4時	～収穫祭・芋煮会～ 自分たちで育てたお野菜で芋煮を作って楽しもう!	企画運営スタッフ
10	11/30 (土) 午後1時10分～3時40分	～実習 農薬を使わないお野菜づくり 大根収穫～	渋谷農園 渋谷正和氏
11 ★	12/14 (土) 午後1時30分～4時	～大豆を育てて 手作り豆腐を作ろう～	企画運営スタッフ
12 ★	12/21 (土) 午後1時30分～4時	～大豆を育てて 手作り豆腐を作ろう～ 大豆の選別	企画運営スタッフ
13	1/11 (土) 午前9時～午後4時30分	～実習 伝統食品作り(1) こんにゃく作り～ ～実習 こんにゃく料理作り～試食～(午後2時～;交流会)	こんにゃくの会 中とき氏
14 ★	1/25 (土) 午前9時～午後4時30分	～実習 伝統食品作り(2) 手づくり豆腐作り～ ～実習 豆腐料理作り～試食～(午後2時～;交流会)	企画運営スタッフ
15	2/15 (土) 午後1時30分～4時	クロージング～ 自然と調和したナチュラルライフを考える～	渋谷農園 渋谷正和氏

★;特別研修コースとの合同講座

注1; 5回以降の講座会場は、渋谷農園(南畑)、(三芳)、南畑公民館、鶴瀬公民館など。

(詳細は、6/23 オープニング時にお知らせします)

注2; 第1回(6/22)講座時に、教材費;3,000円を徴収させていただきます。

市民講師によるサロン塾

「人材バンク推進委員の会」と市民大学との共同企画



富士見市の人材バンクに登録されている方を講師に迎えた「市民による講座」です。

笑いあり、音楽あり、手先運動あり、お料理あり…などなど。

バラエティー豊かな講座を企画しました。

興味のある講座を選択し受講いただいても結構です。お気軽に受講ください。

○時間はいずれも 13 時 30 分から 15 時 30 分までです。

回	日時・場所	内 容	講 師
1	6 月 10 日 (月) 鶴瀬公民館 (第 3 集会室)	・ミニコンサート ゴスペルサークル寿限無とオリエンテーショ ン アメリカ発祥のゴスペルを謳いましょう♪	代表 渋谷 蘭子 氏
2	6 月 24 日 (月) 鶴瀬公民館 (いきいき活動室)	・お抹茶を楽しみましょう「和の心で」 お茶菓子代(教材費) 300 円 (6 月 10 日までに申し込み)	伊藤ちよ子 氏
3	7 月 1 日 (月) 鶴瀬公民館 (いきいき活動室)	・大人の絵本 — 大人が楽しむ絵本朗読 『100 万回生きた猫』他	図書館司書 ふくしまます み 福島祐美 氏
4	7 月 8 日 (月) 鶴瀬公民館 (いきいき活動室)	・ペン習字 短い文章を書きましょう ○筆ペン持参ください	人材バンク 江村文子 氏
5	7 月 22 日 (月) 鶴瀬公民館 (いきいき活動室)	・折り紙／指先の運動、折り紙を折りましょう (教材費 100 円 7 月 8 にまでに申し込み) ○ハサミを持参ください	市人材バンク 鈴木茂夫 氏
6	7 月 29 日 (月) 鶴瀬公民館 (いきいき活動室)	・人生講話と写経 — 無になって ○筆ペンを持参ください。	来迎寺住職 横山亮英 氏
7	8 月 5 日 (月) 鶴瀬公民館 (いきいき活動室)	・アロマセラピー 物忘れが気になる方々に良い アロマセラピー	市人材バンク 中嶋久美 氏
8	8 月 26 日 (月) 鶴瀬公民館 (第 3 集会室)	やさしい手話 ピアノの伴奏にあわせて手話で歌いましょう♪ ○ピアノ伴奏・八戸綾子氏	社会福祉協議会 手話サークル 榎本ちはる 氏

(注) 第 2 回の「お抹茶を楽しみましょう」講座は、申し込みと同時に材料費が必要です。

人生 100 年時代' の新しい自己発見・仲間・生き甲斐づくりの 「これからは楽しみながらボランティアしよう」

NP0 法人市民大学では理事やサポーターとして活動してくれるボランティアを募集しています。

充実した、人生設計を立ててみませんか。身近に仲間のいる楽しい生活プランを、パワーポイントをつかって、実践経験の豊富な講師がやさしく解説します。

回	日時・場所	内 容	講 師
1	11 月 16 日 (土) 午前 10～12 時 鶴瀬公民館 第 3 集会室	ボランティアからの生きがいづくり 豊かに生きるきっかけになるボランティア ①ボランティアは「お互い様」の関係づくり ②いきいきシニアの活躍が求められている ③さまざまな活動とはじめの一步	佐藤陽氏 十文字学園 女子大学教授
2	11 月 23 日 (土) 午前 10～12 時 鶴瀬公民館 第 3 集会室	楽しみながらボランティアしよう ～自分の時間がとれる範囲で、専門領域、得意な領域 で参加しませんか？ ①NP0 市民大学の理念と沿革 ②NP0 法人富士見市民大学のしくみと理事やサポ ーターの活動とは ③私の場合―ケーススタディ (講座受講生)	金田光正氏 元鶴瀬 公民館館長 & 市民大学理事

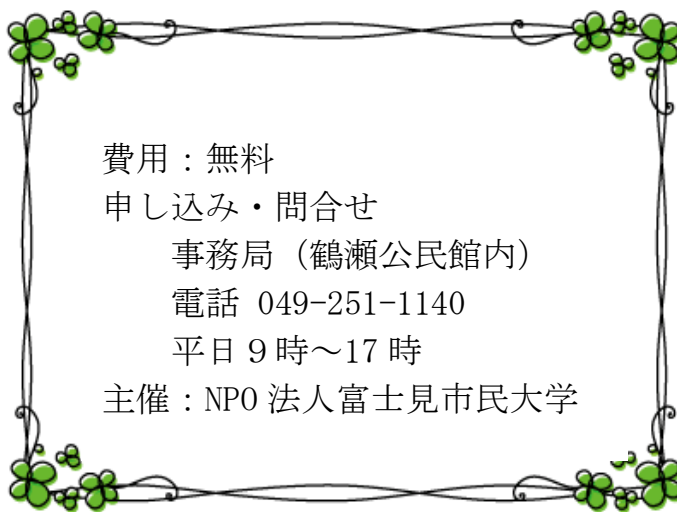
佐藤陽氏
十文字学園
女子大学教授



金田光正氏
元鶴瀬公民館
館長



費用：無料
申し込み・問合せ
事務局（鶴瀬公民館内）
電話 049-251-1140
平日 9 時～17 時
主催：NP0 法人富士見市民大学



第 42 期富士見市民大学開講式 と公開講演のご案内

公開講演はどなたでもご参加いただけます

日 時： 2019 年 6 月 1 日（土）

午前 10 時 ～ 12 時

会 場： 鶴瀬公民館（第 3 集会室）



講 師：ヤセ騎士（ナイト）氏

演 題：「生きる」－ 挫折を
のりこえ、笑いを届ける

日本ダイエット健康協会認定、ダイエットインストラクター

芸人のヤセ騎士(ナイト)と申します (^O^).

普段はお笑い芸人を兼ね、ダイエットの個別指導や
カウンセリングをやってまア～す！

主催 NPO 法人富士見市民大学

〒354-0033 埼玉県富士見市羽沢 3 丁目 23-10 鶴瀬公民館内

TEL:049-251-1140

<http://www.fujimi-shimindaigaku.org/>

すべての子どもの 未来のために ～子どもの貧困問題と支援～

今、日本の子どもの7人に
1人が貧困状態だと言われて
います。その現状や、大人が
子どもに積極的に関わる
必要性等を分かりやすく
解説していただきます。

子どもの
貧困問題って？

必要な支援は？

大人が
できることは？

日時：2019年12月21日(土)
午前10時～12時

講師：末富 芳 氏

日本大学文理学部教授

会場：鶴瀬西交流センター3F多目的ホール

定員：120名

(満席の場合は申込みの方が優先になります。)

費用：無料

申込み/問合せ：事務局(鶴瀬公民館内)に直接
または電話で

※平日の9時～17時にお願い
します

☎049-251-1140



主催：NPO 法人富士見市民大学

公開講演会

中国古典にまなぶ「人生100年時代」をいきる知恵



新元号「令和」の出典は『万葉集』梅花の歌 32 首の序文とのことです。その序文の作者が利用した出典は『万葉集』より千年ほど古い中国の古典です。この講演では、人間にかかわる森羅万象を書き綴った文章を長きにわたり蓄積し、知恵の宝庫である中国古典の森を散策します。

日 時：2019 年（令和元年）10 月 12 日（土）午後 1 時 30 分～3 時

会 場：富士見市立鶴瀬公民館（定員 60 名）

費 用：無 料

講 師：大東文化大学名誉教授 林 克 氏

教授時代から東京都文京区の湯島聖堂で中国の古代思想を講じてこられました。現在も、『易経』並びに『素問』（すもん）— 中国最古の医学書の講読を担当されています。

公開講演会 人生百歳をいきる健康管理 ― 「それでも検査は必要」



三浦健氏は、「希代の漫画家・手塚治虫氏の臨終をみとり、元駐米大使・牛場信彦氏の延命に努められるなど――がんの診断と治療の名医として、そのお名まえは全国に知られています。「それでも検査は必要」は、ご自身もがんを患ったことのあるご先生の謙虚な言葉です。今回の講演会では、私たちに身近な乳がん・胃がん・大

腸がん・膵臓がんを中心に、「がんの診断と治療」について話していただきます。

講 師：三浦病院 院長 三浦 健 氏

日 時：2020(令和2)年 2月15日(土) 午前10時～12時

会 場：鶴瀬西交流センター3F多目的ホール

定 員：120名（満席の場合は申込みの方が優先になります）

費 用：無 料

申込み/問合せ：2020年 1 月 6（月）から受け付け開始します。

事務局（鶴瀬公民館内）に直接または電話でお申し込みください。

☎ 049-251-1140（※平日の9時～17時をお願いします）

三浦先生のプロフィール 1930年生まれ、広島県出身。1954年、東京大学医学部卒業後、同医学部第2外科で20年間研究と臨床に従事する。その間、ハーバード大学に3年間留学。1975年、半蔵門病院外科部長を経て、1990年4月、三浦病院を開院。

（三浦病院）（富士見市下南畑3166）